

Group Exhibition

## “KIOSK”

© 寫眞、一林保久道、今中健太、umao、RYO OGATA、神出謙、Kamerian.、北山雅和、笹崎凜、Kousuke Shimizu、白根ゆたんぽ、スズキエイミ、NAZE、宮下サトシ、UC EAST、CCH/ Shunsei Wada

2024/8/24-9/21

Marco Gallery 1F



**2024.8.24 SAT - 9.22 SUN 13:00 - 18:00**  
**Lastday - 17:00 Closed on Monday, Tuesday**

© 寫眞 一林保久道 今中健太 umao RYO OGATA  
神出謙 Kamerian. 北山雅和 笹崎凜 Kousuke Shimizu 白根ゆたんぽ  
スズキエイミ NAZE 宮下サトシ UC EAST CCH/Shunsei Wada

企画協力



**Marco Gallery**

大阪府大阪市中央区南船場 4-12-25 竹本ビル 1F,3F,4F  
Takemoto BLDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku, Osaka City, Osaka, Japan  
Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: info@marcoart.gallery

ロゴデザイン | 一林保久道 文字配列&デザイン | umao

この度、Marco Gallery ではグループ展 “KIOSK” を開催いたします。本展では、大阪を拠点とする voyage kids、pulp にもご協力をいただき、総勢 16 名のアーティストの作品をご紹介します。

ギャラリー内に KIOSK を設置し、それぞれのアーティストが手がけたリソグラフィや、T シャツが並びます。

ぜひご高覧ください。



## ■出展アーティスト（敬称略）



### ■(R) 写真 / R Shashinn



10代前半からストリートカルチャーに邁進し路上で友人たちと日々遊ぶ延長で表現活動始める。

2020年頃から本格的に写真表現に力を入れ、自身を取り巻く環境、仲間や街の“光っている”瞬間を切り取っている。切り取る対象の特性上、写真の現像や印刷は自身で全て行うことを好み、その発表においても限られた場所で扱われる。ZINEの制作や街でのゲリラ展示と一貫して、ニッチで突発性のある路上的表現を行なっている。

2022.12 個展"原始冒銀" 大阪・VOYAGE KIDS

2023.02 "EAST EAST 東京・科学技術館

2023.12 "Study 大阪関西国際芸術祭" 大阪・船場エクセルビル

2023.12 個展"街盗者 2-1" 大阪・VOYAGE KIDS



### ■一林保久道 / Hokuto Ichibayashi



日本・石川県出身。1992年生まれ。

京都精華大学芸術学部造形学科日本画専攻卒業。

自然の中にある鉱物や動植物を素材にしてきた古典的な日本画絵具ではなく、あえてアクリル絵具等を使用することで、人工物に囲まれた社会に生まれ育った世代のリアルな美的感覚を表出させる。古典的な日本画技法を駆使し、ゲームのビジュアル表現を採り入れ 2000年代以降の風俗をモチーフにした作品を制作している。



### ■今中健太 / Kenta Imanaka



1999年 奈良県出身。

2024年3月 広島市立大学大学院芸術学研究科造形芸術専攻博士前期課程修了。

自分の頭の中にある世界の登場人物や物語の一部を切り取ったものを、鑑賞者に愛や大切にすることを思い出して欲しいという願いを込めて童心やいつくしむ心をテーマに油彩画の技法を主に用いて制作している。

額縁を空想と現実の2つの世界を繋ぐポータルとして考え、絵画と共に制作している。





### ■umao

動物と青色が好き。

東京都在住。 京都精華大学デザイン学部イラストレーションコース卒業。

2016年よりフリーのイラストレーターとして、書籍や広告、webなどの媒体で活動。

グループ展や多数の個展を開催する等、様々な分野で精力的に作品を発表し続けており、2022年12月には、初めての作品集となる『DAISUKI』が出版された。



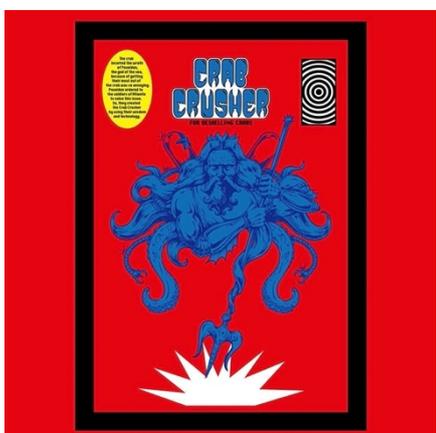
### ■RYO OGATA

2001年生まれ 東京都出身。

東京藝術大学 先端芸術表現科 大学院修士一年在学中。

高校在学時から居酒屋やお寺などで個展を開催し、大学入学後も様々な場所や媒体で発表を重ねる。

日本画や浮世絵、妖怪などに着想を得た作品を制作し、あの世とこの世の狭間に存在する世界を描き出している。絵画や立体、アニメーションなどを通じて表現している。



### ■神出謙 / Ken Kamide

1997年ロサンゼルス生まれ。

2022年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業、同大学大学院デザイン科第7研究室在学。

幼少期に遊んだおもちゃやコミックなどのアメリカンポップデザインに影響を受けたカラフルでコラティブな作品を主に制作する。





### ■Kameran.

Kameran.は 1990 年生まれ。  
グラフィックアーティストとして国内外で活動。

タトゥーアートやアニメーション、漫画などから影響を受ける。よく知られた寓話や大衆文化をモチーフに、欧米アニメを彷彿とさせるような強い輪郭線と色彩でメルヘンチックかつ倒錯的な世界観を作り上げる。狂想曲のようなポップな作風に性や暴力などの背徳的表現を盛り込むことで、寓話や大衆文化が本来的にもっている暗部を露呈させる。テーマは「幼稚で暴力的」。



### ■北山雅和 / Masakazu Kitayama

グラフィックデザイナー。

Cornelius、青葉市子、OKAMOTO'S、GEZAN、cero など、音楽を中心としたアートワークを手がける。

2015 年より「TYPOGRAFFITI」と題した作品を展開。

SEALDs、PERFUME、METAFIVE、C.R.A.C.、河村康輔、UNDERCOVER MAD STORE と多様なコラボレーションを重ねながら、展示、制作を続けている。



### ■笹崎凜 / Rin Sasazaki

奈良県出身。  
2024 年 京都精華大学 大学院 芸術研究科 博士前期課程 版画領域 在籍。

芸術は生活の延長線上にあるささやかなものであると考え、自分の過去、内面、日常を描き出す私作品を制作。版画やアニメーション、粘土や漫画といった多様なメディアを用いる。

2023 “SCOSWAPAN” Gallery Heptagon / 京都

2023 “侵色：開始” 京都精華大学ギャラリーTerra-S / 京都

2024 “Saturday Night Once More (curated by Marco Gallery)” Wall\_alternative / 東京

2024 “A-Lab Artist Gate'24” A-Lab / 尼崎

2024 “ユーモアビート” Marco Gallery / 大阪





## ■Kousuke Shimizu



東京を拠点にアナログコラージュ、シルクスクリーン、イラストレーション、グラフィックから半立体物など、様々な手法、アイデアを取り入れ作品制作。

東京、大阪、ドイツ（ベルリン）など国内外での個展開催、国内外での様々なグループ展、エキシビションに参加。

作品制作と共に、アパレルブランド COMME des GARÇONS、KIDILL、STUSSY (USA) や広告媒体などに作品を提供。

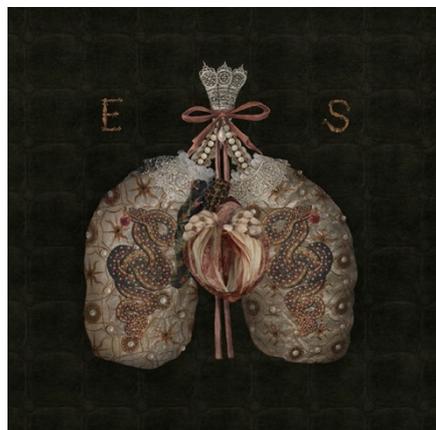


## ■白根ゆたんぼ / Yutanpo Shirane



イラストレーター。

1968年埼玉県深谷市生まれ。東京在住。



## ■スズキエイミ / Eimi Suzuki



現代美術家・ジュエリーデザイナー・マルチアーティスト。

1993年 生まれ。

2016年 文化学園大学 造形学部 ジュエリー・メタルワークコース卒業。

生や偏見、祈りをテーマとし、古典美術を現代に落とし込んだコラージュにペインティングを組み合わせた平面作品を制作する他、金工作品やオブジェなども手掛ける。

国内外で開催する展示活動を精力的に行いながら、アートディレクションやファッションブランドとのコラボレーションの他、CDジャケットや映画関係、装丁の描き下ろし等、その活動は多岐に渡る。

2022年夏 ジュエリーブランド「eiminess」を始動。

出版物に 画集「Anatomie de l'Art Insolite d'Eimi Suzuki 悍ましくも美しきものの解剖学」他2冊がある。





### ■NAZE

1989年茨城県生まれ。

グラフィティカルチャーをベースに、触覚的な筆致で描かれるドローイング、スプレーやコラージュを用いたペインティングや、廃棄物を使ったオブジェ、テキスタイルワークなどの作品を制作している。また、contact Gonzo としても活動を行う。

近年の主な展覧会に、「Flowers」(FINCH ARTS、京都、2020)、「ceramic scramble」(ゲンロン カオス\*ラウンジ 五反田アトリエ、東京、2019)、「net/stoke GRAFFITI」(Vincom Center for Contemporary Art、ベトナム、2017)、「VOCA 展 2016」(上野の森美術館、東京、2016)、「鉄道芸術祭 vol.5」(アートエリア B1、大阪、2015) などがある。



### ■宮下サトシ / Satoshi Miyashita

1992年東京都生まれ。

2016年多摩美術大学工芸学科陶専攻卒業。

近年の主な展覧会に、19年キュレーションおよび出展「ceramic scramble」(五反田ゲンロンアトリエ、東京)、「TOKYO2021 慰霊のエンジニアリング」(戸田建設、東京)、「ART AS GIFT」(オン・サンデーズ、東京)、20年「Satoshi Miyashita popup」(BEAMS JAPAN 新宿、東京)、「BROCKHEAD MOTORS RC CAR EXHIBITION」(TOKYO CULTUART by BEAMS、東京)、「once again」(TOKYO culated by BEAMS、東京)、「Y-generation artist」(銀座 蔦屋書店アトリウム、東京)、「Beautiful Dreamer」(ware house gallery、香港)、21年「Gallery of taboo」(日本橋、東京) など。



### ■UC EAST

徳島県出身、大阪府在住。

クラブカルチャーに触発され LIVEPAINT から活動を開始。LIVE であることに重点を置いたパフォーマンスを様々な音楽家と共に作り出す。その他にも個展やグループ展、音楽のカバーアートやフライヤーなどのデザイン、アパレルコラボなど様々な制作活動をしている。

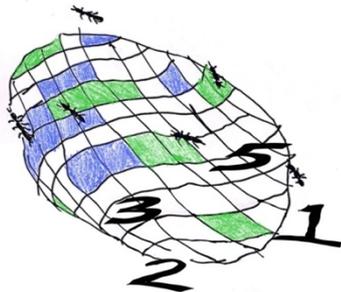


## ■CCH/ Shunsei Wada



1999年宮城県生まれ。

日常の中で浮かんでくる有象無象の記憶や違和感を、主に幼少期の拙いイメージを頼りに、ドローイングを起源として絵画、立体、インスタレーション、タトゥーを主とした表現形式で活動を行っている。



## Group exhibition “KIOSK”

出展作家：(R) 寫眞、一林保久道、今中健太、umao、RYO OGATA、神出謙、Kamerian.、北山雅和、笹崎凜、Kousuke Shimizu、白根ゆたんぼ、スズキエイミ、NAZE、宮下サトシ、UC EAST、CCH/ Shunsei Wada

企画協力：voyage kids、Pulp

開催日程：2024年8月24日（土）～9月22日（日）

営業時間：13:00-18:00 \*最終日は17:00まで

定休日：月、火

会場：Marco Gallery 1F

お問合せ：info@marcoart.gallery

大阪府大阪市中央区南船場4-12-25 竹本ビル 1F,3F,4F

Takemoto BIDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku, Osaka City, Osaka, Japan

Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: info@marcoart.gallery

